

後悔は
決してさせない
このラーメン

ラーメン
特集
追想編

しゃっきり
シコシコ、
カスタム麺

ちえけら〜1



麺

麺は吟味を重ねたストレート四角麺。3種類あるスープの特性に合わせて2タイプのスープを使い分けている。とんこつラーメンとこく味ラーメンにはスープのコクに負けないよう、標準の太さでコシの強い麺を使用。アッサリスープの鶏丸ラーメンはやや細目でしなやかな麺を使っているため、旨味をしっかりと持ち上げてくれる。

ソフトで
ジューシー、
2種の
チャーシュー

ちえけら〜2



具

具の王様といえばチャーシュー。雲南は煮込みも蒸し煮と味付け煮の2種類の技法でソフトな食感と豊かな味わいを演出。旨味たっぷりの赤身が特徴のウデ肉と、赤身と脂身のほどよいバランスが麺に力を与えてくれるバラ肉の味の絶頂を楽しむべし。メンマは本場台湾から取り寄せ、和食の技法でじっくり味を合ませている。

最後まで
飲ませる魔力、
あなごりがたし

ちえけら〜3



スープ

スープは九州から取り寄せた豚骨を形が崩れるまで煮込み旨味だけを抽出した豚骨スープ、全国から取り寄せた地鶏やシャモでスッパリとった鶏丸スープ、豚骨・鶏のいいとこだけを組み合わせたこく味スープの3種。これに醤油や海水塩、岩塩、乾物などを調整して仕込んだ「もつダレ」を加えるから、もう最後まで飲み干すしかない!

拉麺専門店

雲南
un-nan



京都市右京区嵯峨天竜寺
瀬戸川町17の25
コスモプラザコマツ1F西側
TEL.090-3357-4187
11:30~14:30 17:00~22:00/休

- とんこつラーメン 500円
- こく味ラーメン 500円
- 鶏丸ラーメン 500円



ジャズユニット

T-2 ティーツ

Teraï & Tomita

KYOTIAN I.D.

キョーティアンアイディ

米軍ベースキャンプからスタートを切った、たたき上げのジャズギタリスト・寺井豊氏と寺井氏を35年来の師と仰ぐ富田敏夫氏のギター&ジャズヴォーカルユニット。1996年、京都の「ル・クラブ・ジャズ」より活動を開始
ジャズとは…
1900年ごろ、アメリカ南部の港町・ニューオーリンズでアフリカ系アメリカ人の音楽とヨーロッパ系音楽の融合により生まれた即興演奏型の音楽。'30~'40年代にはスウィングミュージックと呼ばれ世界に広がった

シリアスで退屈なのが
ジャズじゃないでしょ？



切なく、心に染みる富田敏夫氏のヴォーカル。前て聞いてた若い女の音が突然立ち出したこともあるとか



相棒の富田氏をして「彼のプレイはジャズギターの真髄」と言わしめる寺井豊氏。関西、というより日本ジャズ界の重鎮



毎月第一水曜日にT-2のライブが「ル・クラブ・ジャズ」で行われる。時間:22:30~23:00、1ドリンク付2000円

Information T-2ライブ

2月7日(水) 20:30~
le club Jazz (ル・クラブ・ジャズ)
京都市中京区三条御幸町西北角 三条ありもとビル2F
075-211-5800
19:00~翌1:00/月休

「今のジャズはおもしろくないね」と富田敏夫氏が開口一番。「今のジャズはインストゥルメンタル(楽器)のためにある。コード進行にそったアドリブをエンエン10分くらい平気でやっちゃう。客がくたびれちゃうんだよ」。現代人がジャズから遠ざかった要因をこうもびしりと切り捨てる。そういえば、CDショップのジャズコーナーは年々小さくなりつつある。

「伝説のジャズギタリスト」。寺井豊氏の名前の前にはいつもこのフレーズが付随する。パット・メセニー、アル・フォスターといった世界的ジャズの巨匠たちとセッションを行い、彼らを驚嘆させたネタはずれのテクニック。若手のジャズミュージシャンの中には同じ舞台上立つだけで、緊張のあまり足が震える者もいるという。

そしてギター&ジャズヴォーカルを担当するのは富田氏。スタンダードジャズをいとも簡単にボサノバのリズムにのせてラウンジミュージック風に仕上げる、耳ざわりのいい優しいヴォーカルは天性のものか。また彼は、「Adam&Eve」ブランドのオーナーとしての顔ももつ。'68年、ベビーブームの時期とあいまって「人口が増加すれば、狭い日本はマンションの時代になる。フロアリングとテーブルの部屋に和食器は似合わない」と抜群のマーケティングセンスを発揮して「Adam&Eve」を発表。ピーク時には85億にのぼる売上をあげたほどの傑物だ。そのマーケティングセンスゆえ、日本のジャズの現状に警鐘を鳴らし始めたことが「T-2」結成のカギとなる。

彼らが出会ったのは約35年前。富田氏がジャズ同好会に所属していた頃の学生時代。寺井氏のステージを目にしたことがキッカケだった。「日本にもこんなスゴイ人がいるんだって思いましたよ。以来彼をジャズギターの師と仰ぎ、不定期にユニットを結成してステージを行うことは度々あったが、'96年から「T-2」としての活動をスタートさせた。

ナット・キング・コール、シナトラ、ベリー・コモ…。偉大なジャズ的神様が残してくれたスタンダードナンバーを高質のハーモニイで紡いでいく。一曲5分程度。「原曲のメロディを大切に、そしてアドリブは短めに」というのがコンセプトだ。カーク・ダグラス主演の映画「Man with the hone」で、長々と演奏を披露したトランペッターに友人がこう言う。「アドリブなんて客は聞いてない。客は歌を聞くんだ」。この言葉に肝に銘じる。